



愛

Bブロック作品と講評
www.columnland.net

愛とはカレーライスのようなもの

あらゆるものが入り混じり混沌としているもの

愛とは風船のようなもの

ふとしたことで破裂して消えてしまうもの

愛とはウイルスのようなもの

体の内側で暴れまわり苦しくさせるもの

愛とは放射能のようなもの

目に見えずに降り注ぎ蓄積していくもの

いろんな
でもどの
愛
のかたち
もすばらしい

愛とは川のようなもの

留まることなく流れ大きなものへとつながるもの

愛とは花火のようなもの

さまざまな色に輝き人生に彩りを加えるもの

愛とは時間のようなもの

ただひたすら流れ人生に変化を与えるもの

愛とは太陽のようなもの

生きていくうえで必要不可欠なもの

ザ・ノンフィクション

現実体験記

▼今年の6月9日に日本武道館で行われたAKB48の第3回選抜総選挙（以下、総選挙）。この総選挙のファン投票で上位21名に選ばれたメンバーが次のシングル曲を歌うことができる。翌日のスポーツ紙では菅政権の記事をおさえて第一面に堂々と記事が載せられるほど注目度の高いイベントとなった。そんな総選挙に参加した少女たちの中で一人、私の印象に残った人がいた。大島優子、22歳。前回行われた総選挙で彼女は1位を獲り、今回の開票結果速報（投票開始日の夜に発表される中間発表）でも1位だった。今回も彼女が頂点に立つであろうと多くの人が思った。▼運命の瞬間。大島は涙を見せず、ひたすら前だけを真っ直ぐ見据え、発表を待ち続けた。「2位、12万2843票、大島優子」。首位陥落。司会の徳光和夫が読み上げた結果に、納得の笑顔を浮かべ、アリーナ席からステージへ駆け上がる。「第3者はいろいろなことを言います。1人何票も入れられて、本当に総選挙といえるのか。選挙は1人1票じゃないのか」。挨拶に代わり、

選挙自体の在り方について述べ、会場は静寂を保っていた。その後さすが「私にとって票数は皆さんの愛です」と、そして最後には「たくさんのお愛をありがとうございました」と述べ、会場は温かい空気に包まれた。投票権がついているCDを2200枚も買うファンもあり、批判も多い総選挙だが、彼女はそれを公の前でしっかりと受け入れたことを示すコメントだった。その上で12万という票が自分に、そして全体で100万超の票が今回投じられたことに対する最大級の感謝を表現したのだった。▼結果発表後、舞台裏で前田敦子（今回の総選挙1位）と涙の抱擁を交わした大島。少しの間無言だった二人だが、その後お互いに意志を言葉で伝えあった。抱擁後、目は真っ赤であったが、他のメンバーやスタッフにいつもの優子スマイルで接する姿があった。それは今回の総選挙を含め、彼女がファンから大きな愛を受け取って生まれるアイドルとしての自信であり、ファンにさらに大きな愛で返そうとして生まれるアイドルとしての自覚なのだろう。マネージャーとラーメンを食べに行くと言って武道館を後にする彼女の小さな背中はとても大きく見えた。

物心つく前からいつも一緒だった

どこへいくにも、何をするにも

常にキミが隣にいてくれた

逢えない時間が絆を強くするとは言うけれど

逢っている時間も絆を強くすると思うんだ

ボクたちはいつも一緒

だから切れない糸でつながっているんだ

たくさんの人がこの地球で暮らしてる

でもボクらが暮らす世界はボクとキミのふたりだけ

社会も政治も法も友達も家族も

なにもかも関係ない

キミがいてくれさえすればそれでいいんだ

さあ

未来永劫変わらない愛の世界へ

今日はクリスマス。

相変わらず彼女のいない俺は、普段より数を増したカップルたちが手をつないで歩く街から離れたくって、人通りの少ない通りに面した『いつもの公園』のベンチに腰かけてボーッとしていた。

「やっぱりいたーっ。」

あいつの声がした。幼馴染のあいつ。小さいころから一緒に遊んだりして、俺とあいつは互いを異性として意識しない関係だった。あいつが俺の隣に腰かける。

「あんたのことだから、どうせここに来てると思ってたんだ。」

「クリスマスでも俺にはデートしてくれる女の子もいねえから、ってか？」

「ふふ。そのとおり。ねえねえ、今年はサンタさんに何頼むの？」

「んー…愛が欲しいなー、なんて。」

「ふふ、相変わらず変わっててるなあ。」

「別におかしくないだろ？俺だって誰かに愛されたいんだよ。」

「でもね、愛って、欲しがって与えられる物じゃないと思うよ。」

「まあ欲しがったところでそう簡単にもらえるもんじゃないよな。」

「そう。逆に、求めなくなつて貰える物でもあるんじゃないかなあ。」

俺もあいつも成長して、俺は最近あいつの中に女の子らしさみたいなものを見出すようになっていた。それまでは思ったこともなかったのに、ふとしたしぐさとか、あの「ふふ。」って笑い方とか、可愛いなっと思うことがあるようになっていた。

「ねえ覚えてる？6歳の時、あんたここであたしに好きだーっ、て言ってくれたんだよ。」

「え、そうだった。あんま覚えてないな、いや、確かにあったかも…。」

「あたしね、あのときのこと、すっかりよく覚えてるんだ。だってすっかり嬉しかったもん。この公園で、あんたと遊んだ思い出いっぱいあるけど、あのときのことが一番鮮明に覚えてるかなあ…。」

あいつの顔は少し赤くなつてた。鈍い俺でも、そのときはちょっとあいつの言いたいことが分かったような気がした。

「あんたは求めてないかもしれないけどさ、でも、あげたいからあげちゃう。」

そう言っであいつは俺の頬にキスをしてきた。唇が微かに触れるくらいの、そんな優しいキスだった。

「ふふ。あんたが欲しがってたクリスマスプレゼントだよ。」

俺はすぐドキドキしてた。それからお互い言葉が出なくなってしまったけど、俺の左手とあいつの右手は、いつの間にか繋がれてた。降りしきる雪にも関わらず、なんだかすごく温かかった。

愛

一粒種をもらったら

心の中で育てよう

しっかりと水をやり

毎日声をかけ

見守る

そしたら

きれいな花が咲くだろう

それで心は満たされる

種ができたら人にあげよう

君が一粒もらったように

幸せの贈り物

「人を幸せにしてみませんか」

春、桜の花が満開になる頃、僕は学校の掲示板でそう書いてある広告を見つけた。明らかに怪しい広告。だがその時の僕はなぜかその一文にひかれてしまった。とりあえず書いてある連絡先に電話をしてみる。

「もしもし？あの広告を見て電話したんですけど……」

「広告見たの！？じゃああんたが私のパートナーね！また後で連絡するから！」

……一方的に切られてしまった。こうして僕は彼女のパートナーとなった。

彼女は隣のクラスの女子。自称救援部部长。実際この学校には救援部なんて存在しない。

ただ彼女が勝手にそう名乗って空き部屋を適当に独占していた。

主な活動内容は依頼があったら人助けをするということ。といっても依頼なんてほとんどなく、いつもはお茶を飲んだりオセロやチェスをしたりして遊んでいた。でも依頼が来たときの彼女は全力だった。熱意がすごかった。すすきるせいで彼女に自由に振り回されて迷惑することもあった。この前休日に急に東京に行くって呼び出されたときは驚いた。片道何時間かかると思ってたんだよって言ったら困ってる人がいたらそんなこと関係ないでしょと怒られた。そんな彼女を面倒に思うこともあったけれど、彼女が誰かのために一生懸命になっている姿を見ると彼女を助けるのが次第に苦ではなくなった。

気付いたら彼女という時間はとても充実していて楽しかった。誰かの幸せに貢献していると思うとうれしかった。それに加え彼女は僕に今までにない気持ちを与えてくれた。僕は彼女に恋をしていた。

秋、少し肌寒くなってきた頃、僕は彼女の家に招待された。彼女は今一人暮らしをして

いるらしい。扉の前でインターホンを鳴らす。

……返事がない。よく見ると扉は開いていた。

鍵をかけるのを忘れたのだろうか。中に入ると彼女は机にうつむせになって寝ていた。……

まあそこが彼女らしいんだけど。部屋の中を見回す。思ったよりも綺麗に片付いていた。

「なに人の部屋じろじろ見てんのよ。」

気付いたら彼女がこちらを見ていた。

「人が来るのに寝ている君に言われたくないね。」

「あっそう。」

そっけない返答。彼女の言葉にも態度にもいつもとは違う雰囲気漂っていた。

「あのさ……ありがとね。」

突然のお礼。……何となく心当たりはあった。

「あんたが電話してきてくれたとき私すっごくうれしかった。」

彼女は誰かを求めている。誰かに必要とされなかった。あの広告の「人」とは第一に彼女のことだった。

「僕も感謝している。」

僕にも彼女に伝えたい思いがあった。

「君のおかげで僕は毎日がとても楽しかった。生きてるって感じがした。そして今……」

僕は彼女を見つめなおす。

「僕は愛する人と一緒にいられる。」

彼女は一瞬きよんとした顔をした。だがその顔はすぐに笑顔に変わった。

「あんたって人を幸せにする天才ね。」

「君ほどたくさんの人を幸せにできないよ。」そう言って二人とも笑った。

彼女はこれからも人を幸せにし続けるだろう。ならば彼女は僕が幸せにしよう。彼女が全力で取り組めるように。そう心に誓った。

あのう聞きたいことがあるんだ。

「この授業のこと？」

いや、違うんだけど。

メールで済む話かなあ？

しんけんな話。

ん？なに？

てか、明日のことなんだけど・・

なにになに？

まあ大したことじゃないんだ

さっさと言ってよ！

すずかけ 一緒に行かない？

いいよー、友達と一緒にだけど。

やっぱり恥ずかしくて言えないや。

やっぱり面と向かっては言えない。

告ってるの、わかるかなあ？

このメールで気づいてくれるかな？

私 愛と恋の違いはなんですか？

父 愛。それは振り返る人。後顧の慕情。
恋。それは千々に乱れる心。憂いも想い。

母 愛。その心は中に。傷つきやすいが故の羞恥心。
恋。その心は下に。下心ではない確固たる情熱。

姉 愛。それは与え、与えられるもの。
恋。それは求め、求められるもの。

兄 愛。それは人を狂わせ、踊らせるもの。
恋。それは目を覆い、惑わせるもの。

祖父 愛。それは仁。人として、命を懸けても守るべきもの。
恋。それは信。互いに思い、嘘偽りなく見せ合える心。

祖母 愛。それは守る物。思いは枯れず、誓いは永遠に。
恋。それは思い出。儚く枯れた、過去も永遠に。

何が違うのだろう。

私はまだ知らない。

愛も恋も本当に私は知っているのだろうか。

でも

私の思う愛、私の思う恋

あなたが思う愛、あなたが思う恋

いつかたどり着く答えは、きっと一緒だってこと。

それだけは、知ってる。

『i』の存在証明

『愛』とは、なんでしようか？」

「……は？ と、思わず心中で漏らす。むしろ、危うく口からこぼれ出るところだった。

『愛』？ そんなこといきなり聞かれても困るし。と言うか、今物理の授業なのに、何この質問？
せめて現国とか倫理の時間なら分かるんだけど。

そんな中、はい！ と手を挙げる男子一人。瓜生くん。クラスでもムードメーカーな明るいヤツだ。

『虚数』です！」

「そうですね。Imaginary Number。その頭文字を取って『虚数』です」

きよ、虚数？ ……ひょっとして、『愛』って、『i』で、『虚数』ってこと？

「……ヤバイ、我ながら恥ずかしい。いくらなんでも『i』と『愛』を間違えるなんて。

なんか悔しいから、いつそのこと『愛』について考えてみようか？

「まあ、ここからは雑談になりますが、みなさんは『i』は存在すると思いますか？」

講義が脱線してと思ったら、雑談に入ららしい。まあ、もう疲れてきてたから丁度いいんだけど。

で？ 『愛』が存在するかって？ これまた何とも言い難い質問だ。

「先生。形が無い『虚数』なのに、それが存在するかっていうのはそもそもおかしくありませんか？」

そう。『愛』とは形が無いもの。だからこそ、古今東西の男女のいざこざが絶えないのだ。

「そうですね。『i』は三次元空間では形を持ち得ません。故に存在しない、と瓜生くんはこう言う訳ですね」

三次元で形がないってことは、体積も質量もエネルギーも、何も持たないってこと。

それはつまり、『愛』は存在しないっていうことなんじゃないだろうか？

「ですが、形を与えようと思えば与えられます。例えば、複素平面を考えてください。ほら、範囲は複素数に拡張され

ますが、このように絶対値で大きさを定義することが出来ますよ」

「でも、それって大きさを言ってるだけで、存在するって言ってる訳じゃないんじゃないですか？」

そうだ。人に対しての好き嫌いで、『愛』の大きさは何となく決められる。

でも、大きさがあることと存在することはイコールじゃない。形がないっていうのは変わらないんだから。

「なるほど。この形での存在を、存在する、と認められないなら、視覚的な存在証明は無理ですね」

いともあっさり投了する先生。自分で言い出した割に淡白だ。こうなるのは予想済みだったのかも。

「では、切り口を変えてみましょう。概念上ではありますが、『i』は確実に定義できます。これはいいですね？」

うん。だって『愛』と言う言葉がある以上、そこに意味があり、意義がある。

定義できるかと言えば、間違いなく定義できる。

「そして、ここからが大切ですが、その定義された『i』は、他の概念を生み出すために使われ得ます」

「……？」 『愛』が他の概念を生み出す？ それってどういう……

「例えば、数学に限定すれば、『i』を用いた公式や定理が山ほどあります。つまりは、そう言うことです」

なるほど。つまり、子供。『愛』が無ければ、男女、そして親としての『愛』が無ければ、決して生まれえない存在。

愛の結晶とはよく言ったものだ。そう考えると、哲学的な話も、少しはロマンチックになる。

そして。『愛』が無ければ。それはつまり、逆説的に『愛』が『在る』と言っているのと変わらない。

それを以ってして存在証明とするのは、少し強引だが有効な手段だ。

「少々卑怯な手ですが、瓜生くん、これでは『i』は存在するとは言いきれませんかね？」

「……む、難しくなってきた、俺には分からないですよ、先生」

呻くようにそういう瓜生くん。そんな様子に、教室全体から笑い声が上がった。

「まあ、お気づきかもしれませんが、私は『i』が存在すると信じています。確たる証拠はありませんがね」

苦笑しながらそう言う先生。

そうしてそのまま、今日は以上にしませうか、と講義を終わらせた。

『愛』の存在証明。きつとそれは、答えの出ない命題であって。

でも、きつと『愛』は在る。と、確たる根拠はないけど、私にはそう思えた。

「愛」

如何に富を手にし、

如何に権力を握り、

如何に栄華を極めても

手に入らないものがある。

そこにあるのは、偽りの心

虚栄

人を助け、また助けられ

命を尊び、感謝を尽くす。

心が満たされてゆく

カーネーションの色

「だから、今週末はだめだ。会えない！ 実家に帰るから！」

と俺は怒って彼女とケンカした。付き合ってから四か月記念日なんて、そんなことしたら記念日がインフレしてしまう。三か月とか、半年ならまだ分かるけど。

その後、メールですごい嫌味を送られた。

『わかった。母の日だからでしょ。マザコンなんだ(笑)』

いくら、俺が彼女のことをどれだけ愛しく思おうと、このメールだけは許せない。絶対に返信してやらない。確かに、今週の日曜は母の日だ。さらに今年は母の誕生日と重なっている。ほかにも外せない理由もある。その理由で実家に帰るのは本当の話。でも、どう考えても親を大切にしない子はダメだし、母親を大切にしない息子なんでもつてのほか。母の愛にそっぽを向くような人は、ダメな人間だと思う。

土曜日にも彼女と会わないのは母へのプレゼントを買うため。そこまでして、という人がいるかもしれないが、これは俺の話なわけで、口出しされても困るのだ。マザコンって呼ぶのなら、好きにすればいい。

母の好きな和菓子を買ひ、母の好きなミュージシャンのサイン入り色紙も手に入れた。問題は、小学生の時から毎年贈ってきた、カーネーションの色である。

母の日定番カーネーション。

母は暖色が好きで、特に黄色が大好きだ。だから毎年、黄色か赤で迷い迷って買っていた。黄色の花言葉があまりよろしくないのは、高校の時、友達との雑談で初めて知ったが、母はどちらにしろ、笑ってありがとうと言ってくれた。後で、そのことを聞いたが、黄色は大好きな色だから、花言葉なんて気にしないよ、と言っていた。

しかし去年は直接渡すことはできなかった。忙しかったから、というのはただの言い訳に過ぎないだろう。だから今年こそ、持っていく。

今年は、どの色にすべきだろう。母の好きな黄色か、赤か。それとも、おとなしく、白いカーネーションを持つていった方がいいのかな……。

母は、去年の梅雨の明けた頃に去っていった。彼女はそのことを知らない。親が生きているすばらしさがわかってないんだ。親の愛がどれだけ……。

実家に着いたとき、父は俺に

「そのカーネーション、あいつもきつと喜ぶよ。」

と言った。太陽はこんなに輝いているのに、俺は悲しくて、母への贈り物を抱えて泣いた。俺は、母に会ってやれなかった自分をとても軽蔑していた。

「会いたい」

そう言う君に愛を感じた

「愛してよ」

そう言う君は哀しそうだった

「哀しいよ」

そう言う君の声を聞いて会いたくなつた

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	なんで、この私が、	8 pt	3 位	3 sp
		えー、なんでなんで～？ 恋は突然。 いきなり襲ってきた心の変調に追いついていけなくてミニパニック状態の乙女心。 おしゃれなパッケージに、そのフレッシュなときめきをぎゅっととじこめていただきました。このままプレゼントしてしまいたいような、うれし恥ずかし今週の表紙です。 内容は忘れてくださいつつ、作者さんの照れっぷりがまたポイントでしたね。 うつくしさが評価されてブロンズ・メダル&最多特別賞です、おめでとう!! 特別賞：がんばったで賞（愛じゃないけど、よくがんばった!!）レイアウト賞（レイアウトきれい）審査員特別賞（11&12に入賞を阻まれた）		
A02	愛するがゆえに融合	4 pt	8 位	0 sp
		カレー×ラーメン、ほんとにおいしい？ ラストにほんのりギモンを感じさせつつ、たしかに燃え上がる愛よりも、ほどほどの愛が長続きするコツかもね、なんて妙にナットクさせられます。		
A03	プレゼント	21 pt	1 位	0 sp
		見せかけの花束なんかより、技術屋の魂を注ぎ込んだ造花の渋い輝きこそが、家族への愛のあかし。しみみり語って泣かせます。 屈指のストーリーテラーさん、女王との対決を制して、ついに最終回の覇者に輝きましたね。おめでとうゴールド・メダル!!!		
A04	ジューンブライド	3 pt	9 位	0 sp
		結婚は「家」！ このままドラマのセリフで行けそうなダイレクトでパワフルなセリフたちでした。 式を前にした花嫁さんの心境でしょうか。人生の旅立ちを目前にした、ういういしい決意が伝わってきます。		
A05	愛たいあなたへこの熱い思いが伝わりますように	3 pt	9 位	1 sp
		ナイスミスリード！ 面会時間にプラスチック板ごし、伏線をしっかり回収して、前半の重たい語りがウソのようなラストの爽快なはじけっぷりでした。 特別賞：よしこって渋くねwww賞（名前が古い） イチオシフレーズ：「うあああああああ！よおしこおおお！」		
		7 pt	4 位	3 sp

A06	愛（にやあっ）	TAさんたち、にやあにやあ猫ごっこ。 たったひとことが、こんなにパワーを持つなんて！ 最多特別賞と今週のイチオシフレーズさらいました。 おめでとう!! 特別賞：こんな広辞苑が欲しいで賞（こんなおもしろい辞書があったら通読してしまいそうだから）にやあ賞（これ猫でしょ）恋で賞（愛じゃなくて恋だと思ったから） イチオシフレーズ：「にやあっ」×5			
A07	かたおもい奇譚	<table border="1"> <tr> <td>7 pt</td><td>4 位</td><td>2 sp</td></tr> </table> 女の子作者さん？ と思ってしまったくらいに、なりきっての臨場感トークがおみごとでした。 片恋の見返りを求めないすがすがしさが好き。ここちよい。説得力ある語りでした。 特別賞：ネカマ乙賞（班員で話しあった結果、Mixyでネカマが書いた作品ということになったから）美咲賞（結ばれて良かったね！この後死んじゃうけど） イチオシフレーズ：「でも、ただ気になるだけ。たった、それだけ。」「奇譚」	7 pt	4 位	2 sp
7 pt	4 位	2 sp			
A08	無題（実話に基づいた話）	<table border="1"> <tr> <td>3 pt</td><td>9 位</td><td>1 sp</td></tr> </table> あー、ありがちだ気をつけなきゃとニヤニヤ見せておいて、ラストにぽんと問いを投げってくる。その呼吸が絶妙でした。 どうする？ 無難なところで、さんばんめ、かなあ？ 特別賞：かわいそうで賞（同情します。涙）	3 pt	9 位	1 sp
3 pt	9 位	1 sp			
A09	無題（きみには幸せになってほしいから）	<table border="1"> <tr> <td>7 pt</td><td>4 位</td><td>0 sp</td></tr> </table> 親、でしょうか。兄、でしょうか。 きびしい叱咤を経てのラストが泣かせます。 イチオシフレーズ：「だから一発殴ってやった」	7 pt	4 位	0 sp
7 pt	4 位	0 sp			
A10	To love, or not to love: that is the question.	<table border="1"> <tr> <td>19 pt</td><td>2 位</td><td>2 sp</td></tr> </table> そして中庭で出会うふたり。 お題をちりばめた総集編のわくわく感とともに、ピュアでほほえましい、絵のようなラヴ・ストーリーです。 おめでとう、シルバー・メダル!!そしてたくさん楽しませてくださってありがとう、女王さま!!! 特別賞：コラムランド賞（全部入り!）ランドの女王で賞（絶対あの子だ。今までのお題、全部入ってる） イチオシフレーズ：「明日の放課後、中庭の桜の木の下で待っています」「to love, or not to love」	19 pt	2 位	2 sp
19 pt	2 位	2 sp			
A11	愛されたいなら愛しなさい	<table border="1"> <tr> <td>5 pt</td><td>7 位</td><td>3 sp</td></tr> </table> 奇跡のコラボ実現！ ひとつでも含蓄深いフレーズが、響き合うことで、また別の意味を持ってくる。お楽しみいただけただしょううか。12さんと手に手をとっての最多特別賞です。おめでとう！ 特別賞：すべて12と同時受賞です。 シンクロ賞（内容がかぶってた。TAさんがいじわる……。）愛しま賞（シンクロしてるから）TA賞（TAグッジョブ 偶然が起こした奇跡） イチオシフレーズ：「愛されたいなら愛しなさい」「愛されたいなら愛しなさい。愛されたいから愛します。」	5 pt	7 位	3 sp
5 pt	7 位	3 sp			

A12	愛されたいから 愛します	3 pt	9 位	0 sp
		奇跡のコラボ実現！ まさにこのコラムランドらしく響き合って読み納め。 11さんと手に手をとっての最多特別賞となりました。 おめでとう！ 特別賞：すべて11と同時受賞です。 シンクロ賞（内容がかぶってた。TAさんがいじわる……。）愛しま賞（シンクロしてるから）TA賞 （TAグッジョブ 偶然が起こした奇跡 イチオシフレーズ：「愛されたいから愛します」「愛されたいから愛しますby美咲」「愛されたいなら愛しなさい。愛されたいから愛します。」		

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
B01	いろんな愛のかたち	8 pt	7 位	0 sp
		小さなものから大きなものまで……♪ いや、何にたとえても、しっくりする比喩ができてしまう。この愛の融通無碍なる全能性たるやスゴい。そんなことを感じさせるラスト表紙です。 カレーライスや放射能がぼこぼこヒットして今週のイチオシフレーズ大賞でした。おめでとう！ただし「放射能」は厳密には「降り注ぐ」ものではなかった気が。 イチオシフレーズ：「いろんな愛のかたちでもどの愛もすばらしい」「愛とは放射能のようなもの 目に見えず降り注ぎ蓄積していくもの」「愛とはカレーライスのようなもの」×2		
B02	現実体験記	10 pt	4 位	2 sp
		あの熱かった総選挙を敢えて抑制した筆致でたんたんと。ファンではない読者にもしっかり感動が伝わるように組み立てたのが好印象です。 つくられたイベントのなかにも少女たちの本気（ガチ）がぎゅぎゅ詰まってる。たしかにね。 特別賞：大島推しで賞（まじめなコラムの中に、大島への共感がうかがわれる）すばらしい賞（深イイ〜） イチオシフレーズ：「私にとって票数は皆さんの愛です」		
B03	歪み	0 pt	12 位	0 sp
		むむ？ 一方通行のストーカー愛でしょうか。それともピュア純愛？ どちらとも取れる、というより、どちらの型にはめてしまうことのできない不定形愛、だから「歪み」とまとめているのかなと読んでみました。		
B04	いつもの公園で	5 pt	8 位	3 sp
		甘いキター！ 最強幼なじみ。ここまで幸せ満開だと読者も赤面するしかないです。 中止のお知らせも出ていないようですし、クリスマスまであと何日、そろそろカウントダウンに入りましょうか、みなさま。 特別賞：定番で賞（前半で話が読めた）いつもの公園でこんなことあるわけないで賞（ラノベの読みすぎで賞） リア充賞（リア充だから）		
		10 pt	4 位	0 sp

B05	愛（一粒種をも らったら）	受けとって、渡してゆくもの。 シンプルなフレーズのあいまから、世界中に花咲く光景 がぱあっと広がります。ACっぽいかも。 爽やか気分の逸品でした。
B06	幸せの贈り物	1 pt 10 位 0 sp 救援部部長さん。とても自然に、ひとりのひとを好きに なってゆく流れが、ていねいに組み立てられて、しっと り浸れます。 ドラマのシーンのような完成度の高さでしたね。
B07	あいしてます メール	3 pt 9 位 6 sp 彼女、鬼畜。 「あ」が来た瞬間に「ご」を返してるんですね。 仕掛けた技巧がみごとにヒットして最多特別賞です、お めでとう!! 特別賞：すずかけ爆発賞（タイムリー）伝わらないで賞 （告ってるの分かんないから）頑張りま賞（頑張りま しょう）気付かなかったで賞（横読みが良い。気付かな くてゴメンナサイ）ドンマイ賞（ドンマイ）99万人コー ド違反で賞（すずかけセーフ？大岡山アウトなのに？） イチオシフレーズ：「ごめんなさい」「あいしてます→ ごめんなさい」「すずかけ一緒に行かない？」
B08	無題（愛と恋の 違いはなんです か？）	12 pt 3 位 2 sp こちら、すですぎなファミリーさんです。何気ない問い かけに、こんなにスーパーな答えがさくさく返ってきて しまう。 みんなをびっくりさせて、ブロンズメダル&イチオシフ レーズ大賞ゲットです、おめでとう!! 特別賞：ポエマー一家賞（家族に尋ねてリアルにこの返 答だとすですぎるから）こんな家族はイヤで賞（イヤで しょう） イチオシフレーズ：「祖父」（意外性があった!!）「そ れだけは、知っている」×2「愛、それは振り返る人。 後顧の慕情。恋、それは千々に乱れる心。憂いも想い」
B09	『i』の存在証 明	14 pt 2 位 0 sp 一貫して繰り返られる先生－瓜生くんの理系トーク に、同時進行つぶやきで愛を絡ませた構成力に酔いまし た。抽象トークなのに、きっちり破綻なくラストまで導 いてゆく。おみごと！ TAさんのみならず、フロアの気分にもヒットしてシル バー・メダルです、おめでとう!!
B10	愛（如何に富を 手にし）	1 pt 10 位 0 sp まっすぐに主張を投げ込んできたすがすがしさ。 まさに虚栄なしのパワフルな言葉たちが、読み手の心を 満たします。 イチオシフレーズ：「命を尊び、感謝を尽くす」
B11	カーネーション の色	17 pt 1 位 1 sp ラスト、何色でしょうね。やっぱり黄色かな。 母を思う熱いフレーズに泣けました。 やっぱりさいごは泣いて終わりたい。そんなみんなの気 分に支持されてゴールド・メダルです、おめでとう!!! 特別賞：またマザコンで賞（またマザコンネタだから） イチオシフレーズ：「記念日がインフレしてしまう」 「マザコン」
		9 pt 6 位 1 sp 連句の趣向ですね。

B12

会いたいー愛し
てよー哀しいよ

「会」が愛を呼び、「愛」が哀を呼び、「哀」が会を呼ぶ。
そうやって歴史が積み重なっていくんだ。つづく気分が
含蓄深い、本年度の読み納めでした。
特別賞：彼はSで賞（我が班の綿密な分析によって、こ
の作者はSの気があるということが判明したので）